

さくら川整備計画



発行：平成18年3月

荒川の歴史

- 荒川は、明治40年、43年(1907、1910年)の大洪水を契機に、明治44年(1911年)から改修工事が開始されました。
- 大正10年(1921年)頃、荒川の戸田橋から笹目橋上流区間が、改修されました。

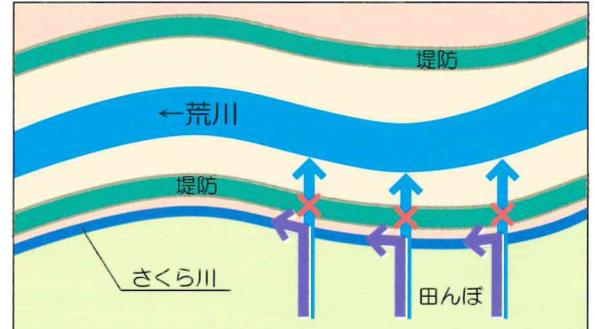


昔の荒川は、大きく蛇行していましたが、大正10年頃、現在の姿に改修されました。

明治の大洪水で、船に乗って避難する人々。
(本所南割下水付近。浸水陸上5尺余り)

さくら川の起源

- 荒川の堤防が築造される以前は、水田からの排水は、直接荒川に出されていましたが、堤防ができたことにより、直接排水することができなくなりました。
- そのため、堤防治いに、農業排水を統合する排水路が作られました。この水路は、荒川の左岸側にあることから、「荒川左岸排水路」と名付けられ、平成17年7月に「さくら川」と名称の変更を行いました。

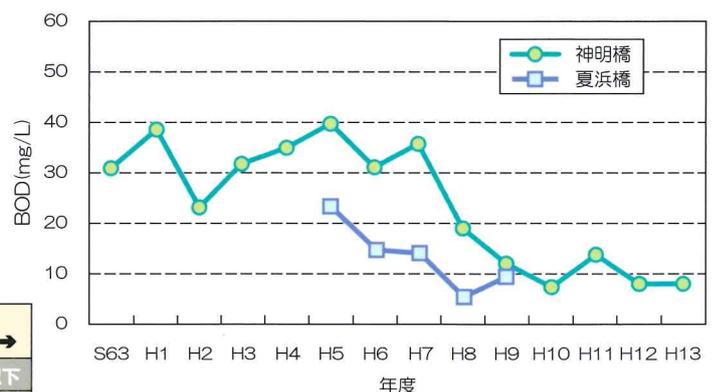


さくら川の水質

- BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水のきれいさをみるための数字で、低いほどきれいな水です。
- 水質は徐々に改善されていますが、まだBODは8程度で、コイやフナなどの限られた魚しかすめない水質です。

BODと生息する魚種

水のきれいさ	← きれい					→ きたない					
BOD(mg/L)	1.0以下	2.0以下	3.0以下	5.0以下	8.0以下	10.0以下					
すんでいる魚	ヤマメ イワナ		サケ アユ	コイ フナ		ほとんど すめない					



さくら川のBODの経年変化

注：魚はBODが概ね5.0以下で生息できると言われていますが、現在のさくら川（BOD：8.0程度）にも、多くの魚の生息が確認されています。

さくら川の自然

● さくら川で行われた生物調査の結果では 以下に示すような生物が確認され、さくら川には多くの生物が生息していることがわかります。

魚類・甲殻類

コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、ウグイ、モツゴ、ドジョウ、ナマズ、カダヤシ、メダカ、マハゼ、ボラ、ウナギ、スズキ、モノアラガイ、アメリカザリガニ、クロベンケイガニ、ミシシippアカミミガメ

鳥類

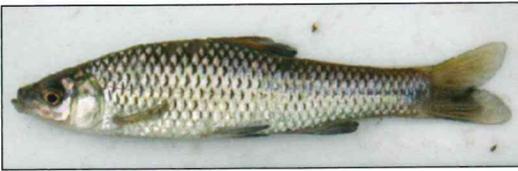
カルガモ、ゴイサキ、コサギ、オナガ、カワラヒワ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ムクドリ、スズメ、ツバメ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス

底生動物

イトミミズ、ユスリカ

植物（河道内）

ガマ、ヨシ、イトモ、コカナダモ



モツゴ



コイ



ガマ

さくら川の現況

● さくら川を下流区間、中流区間、上流区間の3区間に分けて見てみましょう。

下流区間

桜並木が無く、工場が隣接しています。

中流区間

桜並木があり、「水とみどりの回廊（遊歩道）」や天王さくら広場、野竹さくら広場などがあります。荒川水循環センター、彩湖・道満グリーンパークと隣接しています。

上流区間

桜並木が無く住宅が隣接しています。



下流区間



工場が隣接

中流区間



さくら広場



桜並木

上流区間



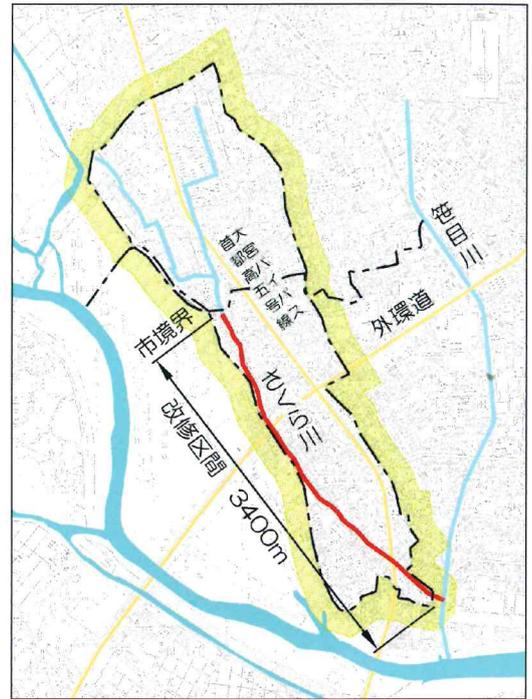
住宅が隣接

さくら川の整備計画について

- さくら川は農業用排水路として利用されてきました。しかし、近年の都市化に伴い農業用排水路としての役割が低下し、流域からの水を流下させる都市河川としての機能が重視され以下のような計画が策定されています。

さくら川基本諸元

項目	計画
計画河道延長（戸田市）	3,400m
流域面積	約474ha
計画降雨確率	1/3年
時間降雨	50.4mm
計画高水流量	35m ³ /s



さくら川に関する経緯

出張説明会 「写真で探検隊」

平成16年7月 於：美谷本小学校

- さくら川の現状、役割などについて勉強会
- アンケートの実施
(5年生児童・保護者・先生)

第1回 川づくり懇談会

平成16年10月 於：西部福祉センター・コンパル

- さくら川の現況などについて
- 新名称募集と意見交換

さくら川に関するアンケートの実施

平成16年7月～平成17年1月

第2回 川づくり懇談会

平成17年2月 於：西部福祉センター・コンパル

- さくら川の整備方針などについて
- アンケート結果の報告
- 新名称の経過報告

川の新名称を「さくら川」と決定

平成17年7月7日

- さくら川は整備当初「荒川左岸排水路」と名付けられましたが、市民が親しみやすい川とするために名称の変更を行いました。
- 新名称については、市民からの公募によって「さくら川」に決定しました。

第3回 川づくり懇談会

平成17年10月 於：西部福祉センター・コンパル

- さくら川の整備計画について
- 新名称の報告



出張説明会 「写真で探検隊」



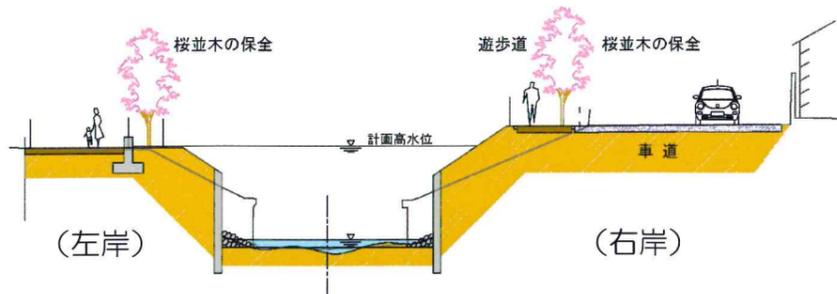
第1回 川づくり懇談会

整備の基本的方針

- 川沿いの歩行者の利用に配慮する
- 美笹の桜をシンボルとする
- 周辺諸施設との連携
- 『広域な荒川堤防上の遊歩道』と『身近なさくら川の遊歩道』との連携と分担

早瀬橋～梅の木橋

- 左岸：現況の桜並木を保全
- 右岸：遊歩道を整備するとともに、現況の桜並木を保全



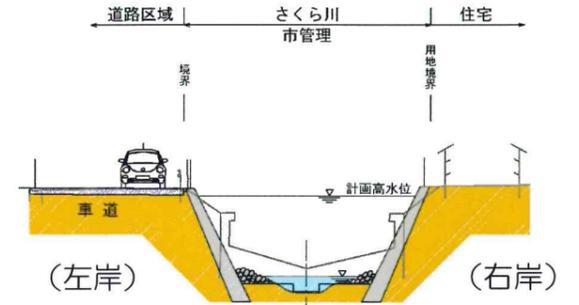
梅の木橋～天王橋

- 両岸：既存遊歩道、桜広場の活用



道満橋～市境

- 両岸：用地が確保できず桜の植栽は困難。
- 右岸：現況道路を利用して歩行空間を検討。



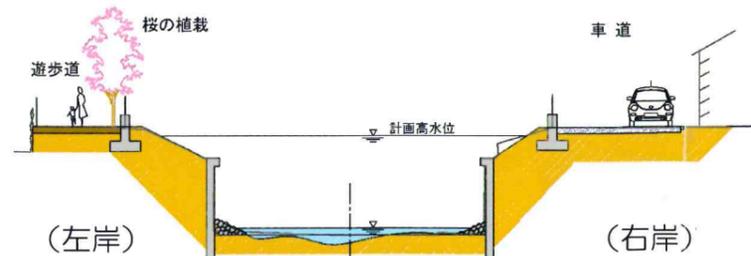
聖橋～早瀬橋

- 両岸：既存遊歩道の活用



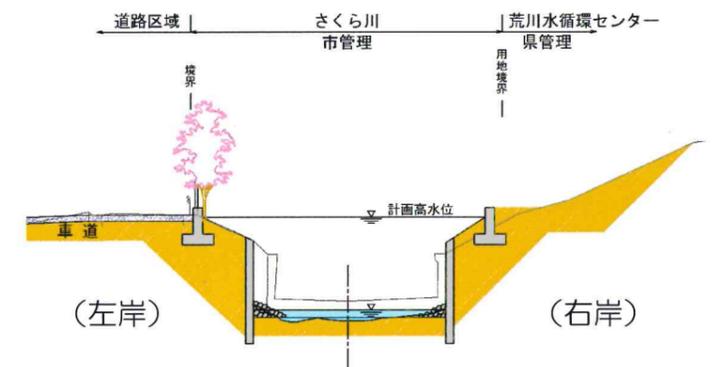
聖下橋～聖橋

- 左岸：遊歩道を整備し、歩道内に桜の植栽を行う
- 右岸：用地が確保できず桜の植栽は困難



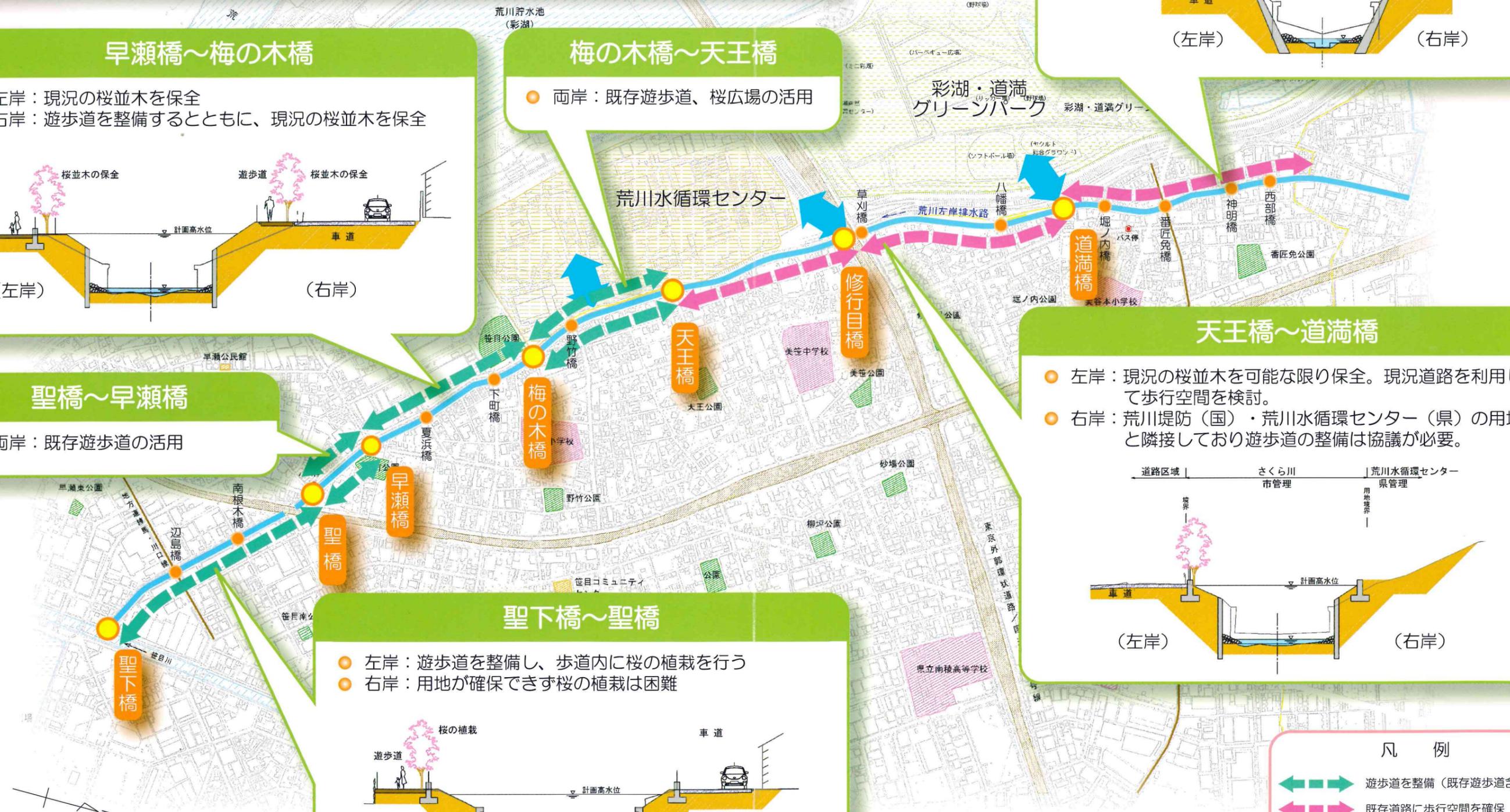
天王橋～道満橋

- 左岸：現況の桜並木を可能な限り保全。現況道路を利用して歩行空間を検討。
- 右岸：荒川堤防(国)・荒川水循環センター(県)の用地と隣接しており遊歩道の整備は協議が必要。

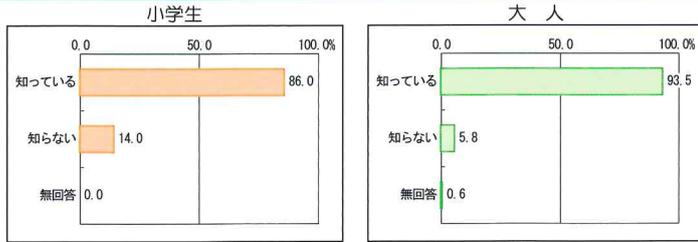


凡例

- ⇄ 遊歩道を整備(既存遊歩道含む)
- ⇄ 既存道路に歩行空間を確保
- ⇄ 周辺施設との接続

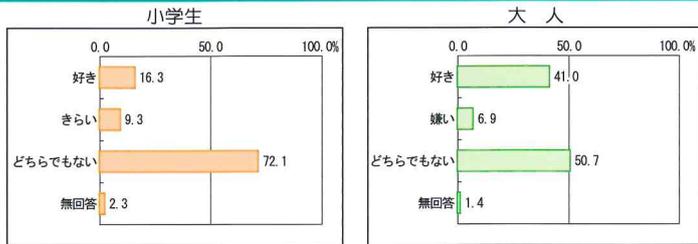


Q. この「川」を知っていますか？



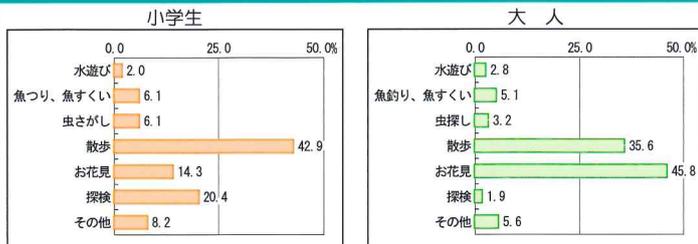
- ほとんどの人が「知っている」と回答しています。
- しかし、「知らない」人も1割前後います。

Q. この「川」が好きですか？



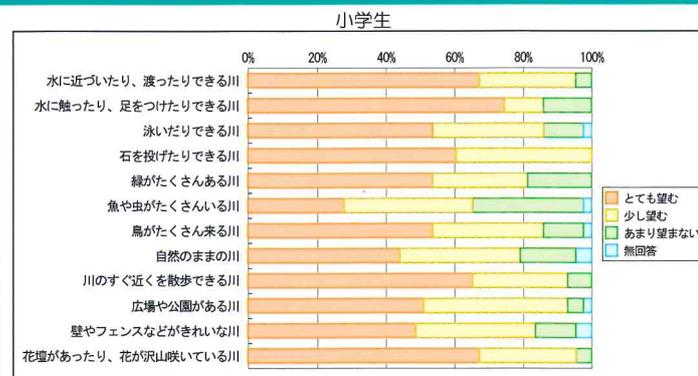
- 小学生は、「どちらでもない」という回答が7割以上あり、川への関心が薄いことが分かります。
- 大人は、「どちらでもない」が5割以上ありますが、「好き」と回答した人も4割ありました。

Q. 「行った事がある」と答えた人は、何をしましたか？



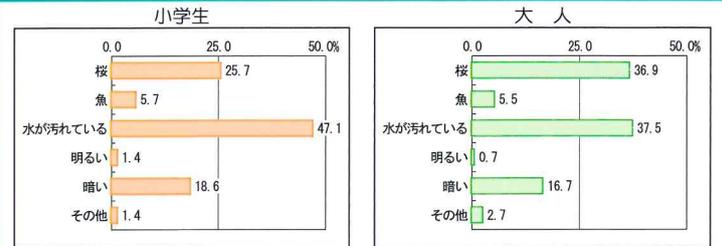
- 小学生は、「散歩」とともに「探検」の選択率が高いようです。
- 大人は「散歩」と「花見」が非常に多くなっています。

Q. 今後、この「川」がどんな川になったらいいとおもいますか。



- 水に近づく、触れるといった、親水性への期待が高いようです。
- 緑や魚といった、生物への期待はそれほど高くないようです。
- 散歩や花壇といった利用への期待は高いですが、壁・フェンスなど、景観的な関心は高くないようです。

Q. 知っていた人は、どんなイメージを持っていますか？



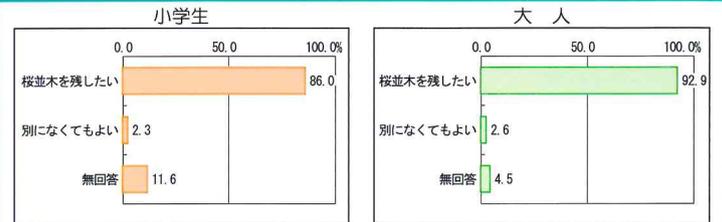
- 「水が汚れている」「桜」「暗い」というイメージを持つ人が多いようです。
- 小学生よりも大人の方が、「桜」というイメージが強いようです。

Q. この「川」に行ったことがありますか？



- ほとんどの人が「行った事がある」と回答しています。
- 「行った事がない」という人も1~2割いました。

Q. 今後、桜並木について、どうしたいですか？



- ほとんどの人が「残したい」と考えているようです。

■アンケートのまとめ

- 小学生は、川に対する関心は薄い傾向にあります。しかし、遊び場としては期待しており、主に親水性に魅力を感じているようです。
- 大人は、悪いイメージはあるものの、桜や植物に対して親しみを感じています。安全な歩行空間で、ゆっくりと散歩をしたり、植物・生物鑑賞を楽しみたいと考えているようです(昔の豊かな川の姿を想像)。



発行者 戸田市都市整備部河川課

住所 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号

電話 048-441-1800

FAX 048-433-2200